



2. 開催テーマ紹介

(株)NTTデータ経営研究所
松川 勇樹

本Meetupのテーマについて（解説）

- 「スポーツ」と「〇〇（他分野）」のかけあわせにより新たな価値の創出が進められている
- 「観光」はそのかけあわせ相手の有望分野
- スポーツを**目的**とする場合と、スポーツの特徴を活かして**手段**として活用する場合がある

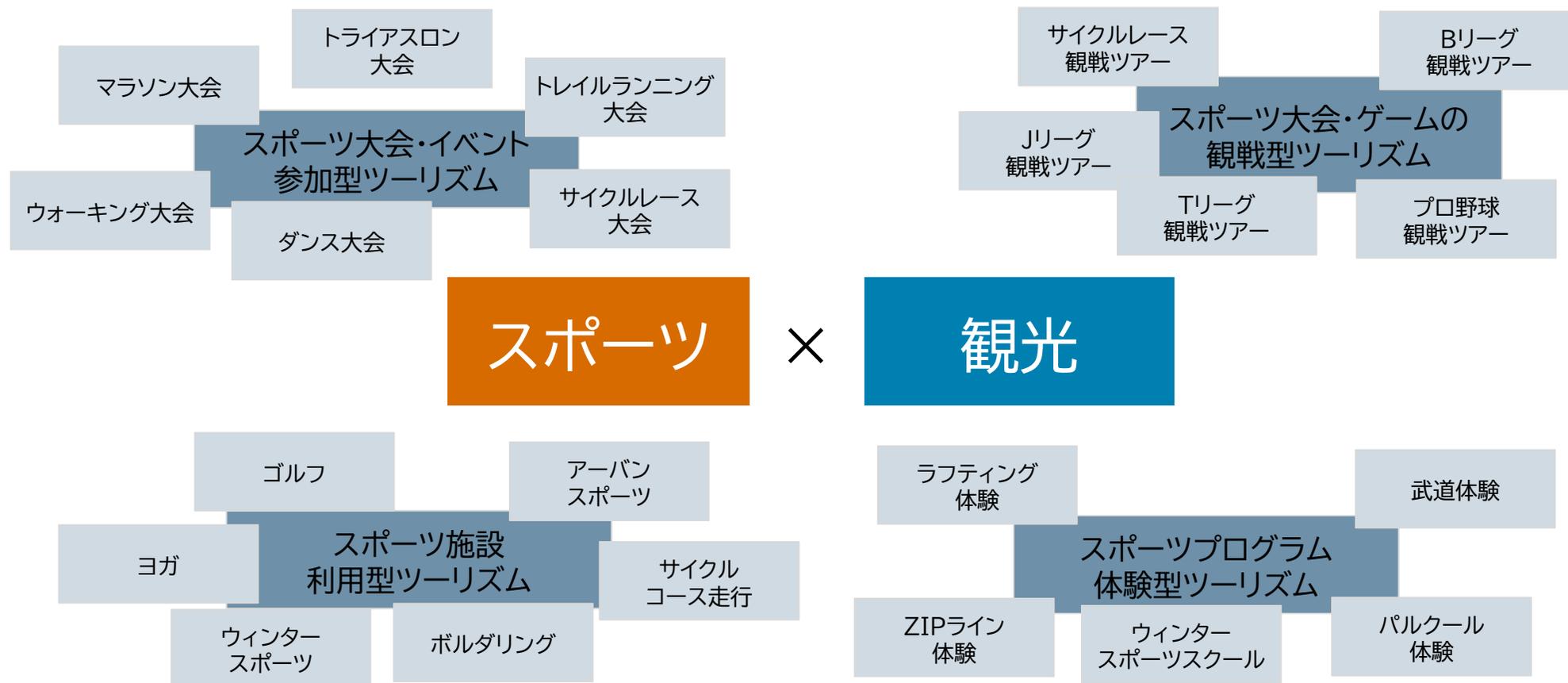
- ✓ スポーツを目的に
and/or
- ✓ スポーツの特長を活かして



- ✓ 異なる経験、価値を活かして
and/or
- ✓ スポーツの周辺産業へ波及

「スポーツ×観光」のひろがり

- 「スポーツ×観光」の具体的なテーマは、スポーツの種類、観光の種類の組み合わせで、**多様にひろがっている**



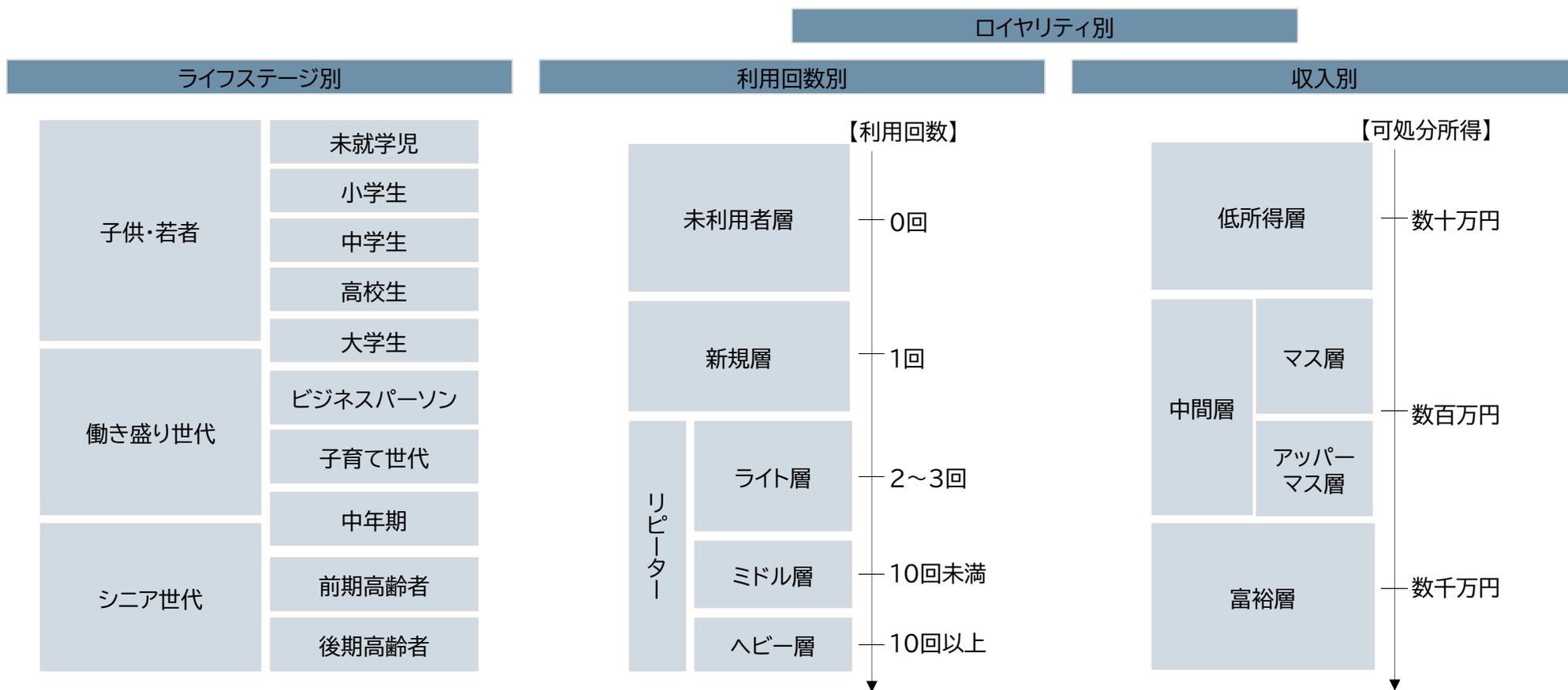
「スポーツ×観光」の論点：ターゲット（ディスタンス別）

- アクセス距離が遠くなるほど、誘客にはコンテンツの魅力やPRのパワーなどが必要となる
- 本日は、**埼玉県外の国内客をいかに集客するか？**を考えてみたい



「スポーツ×観光」の論点：ターゲット（属性別）

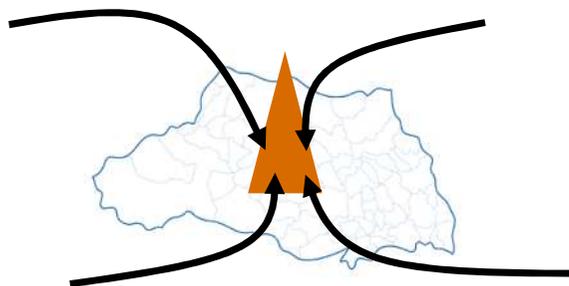
- ディスタンス以外にも、目的に応じて様々な属性別にターゲティングができる



「スポーツ×観光」の論点：コンテンツ（メイン、サブ）

- 県外からの誘客を想定した場合、**誘客の核となるメインコンテンツ作り**と、**滞在や消費を促すためのサブコンテンツ作り**の2つの視点があり、それぞれ課題感が異なる

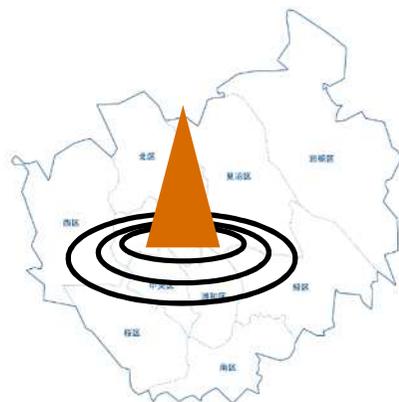
メイン
コンテンツ



いかに強いコンテンツで誘客するか？
(ディステーションとして)

例)スポーツ大会・イベント
参加型ツーリズム

サブ
コンテンツ

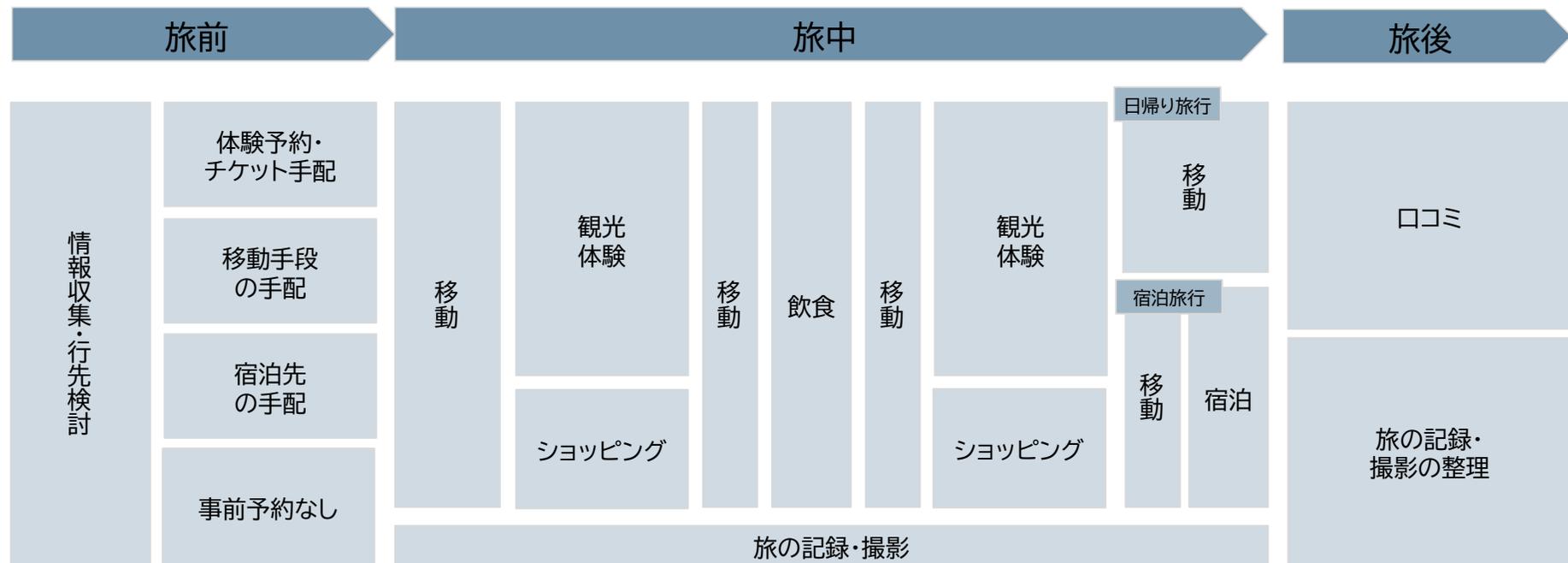


いかに導線(情報、アクセス)を作って
周遊させるか？滞在時間を増やすか？
(あわよくば、宿泊)

例)スポーツ大会・ゲームの
観戦型ツーリズム

「スポーツ×観光」の論点：カスタマージャーニーに応じたタッチポイント、体験の設計

- 観光客のカスタマージャーニーに応じ、タッチポイント、体験をいかに設計するか。観光客の体験価値、満足度を高めるために工夫するポイントが様々ある。ぜひ色々なアイデアを考えたい



「スポーツ×観光」の論点：多様なステークホルダーが関わって成立

- 「スポーツ×観光」関連の事業は、多様なステークホルダーが連携して成立するもの
- 県内への誘客に向け、スポBiz埼玉においても新たな連携のスキームをうみだしていきたい

